



福島県立

たむら支援学校だより vol.27

小・中学部 3学期始業式

1月8日、3学期が始まりました。小学部、中学部の代表児童生徒が、冬休みの楽しかった思い出を上手に発表しました。3学期もがんばろう!!



高等部 特別支援学校スポーツ大会 表彰式

1月8日、始業式後に標記表彰式を行いました。陸上競技リレー優勝、フライングディスク団体準優勝の他、個人種目もメダルラッシュの好成績でした。来年も続け!!



中学部 ALTの先生との外国語活動

ALTのケイトリン先生が来校し、中学部で外国語の授業をしてくださいました。自己紹介の仕方など、英語での表現を楽しく学習することができました。



小学部6年 版画づくり

版画展に出品する制作活動に取り組みました。ローラーで塗料をのべし、パレンでこするなど、道具の使い方にも慣れ、上手に仕上げることができました。



きになる ひょうげん 2024 入選

はじまりの美術館主催の第8回福島県障がい者芸術作品展で、小学部6年、安瀬拓翔さんと同4年、根本結理さん、高等部1年、柳沼謙太さんの作品が入選しました。



高等部 第4期生 二十歳を祝う会

1月18日、第4期生の二十歳を祝う会が開催されました。総勢約60名の参加者で、思い出のアルバムを振り返ったり、カラオケをしたり、4期生の門出を盛大に祝いました。



編集後記

3学期がスタートしました。感染症が流行していますが、子どもたちの明るく元気な声が学校に戻ってきました。冬休み、家族のみなさんとの楽しかった様子が絵日記などから伝わってきます。3学期は短く、あっという間に卒業式、修了式がやってきます。次のステップに向け、まとめの学習をしっかり進めていきます。今年もよろしくお願いいたします。

福島県立たむら支援学校



【春山校舎】Tel...0247-82-4114 Fax...0247-82-4119
【石崎校舎】Tel...0247-82-4627 Fax...0247-82-4629
HP...<https://tamura-sh.fcs.ed.jp> mail...tamura-sh@fcs.ed.jp



地域おこし協力隊奮闘記



皆さん、こんにちは。地域おこし協力隊の佐久間朱妙です。私は2021年7月に東京都から田村市へUターンし、任期満了により今月で地域おこし協力隊を卒業します。入隊当初、私の担当は空き家問題でした。2023年には、空き店舗を活用する取り組みが始まりました。株式会社清水商店さまのご協力のもと、ふねひきパーク内に「田村市お試しチャレンジショップふらっと」を立ち上げ、運営管理を行いました。チャレンジショップは、市内で新たな事業や生業を始めるきっかけを提供し、既存事業の展開に向けた拠点を目指しています。ここでは、多くの出会いや交流がありました。出店者の方々からは、「お客さまと話せて良かった!自分の作った商品が売れてうれしかった!」などの声をたくさんいただきました。

上海帰りのアケミ



中には、出店前は不安そうだった方が、出店が終わる頃には笑顔で生き生きとした姿に変わっていたこともあり、私もとてもうれしい気持ちになりました。この取り組みを通じて、私自身も視野が広がり、出店者の皆さんと共に成長できたと感じています。

今後は、看護師の経験を生かして健康支援に関わる仕事をしながら、これまで出会った方々とのつながりを大切に、活動の幅を広げていきたいと考えています。最後に、温かく接してくださった田村市民の皆さまをはじめ、これまでご支援・ご指導いただいた田村市役所、一般社団法人Switch、私を支えてくれた家族に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。これからの皆さまの健康とご多幸をお祈りしています。

プロフィール
田村市船引町出身。田村市地域おこし協力隊4年目。

海を越えて

英語指導助手ペンリレー

No. 140

ハクトウワシ



ナサニエル・シャイブリー
アメリカ合衆国・オハイオ州出身
(田村市に来て7年目)

「ハクトウワシ」はアメリカ合衆国の国鳥です。北アメリカに生息し、南北アメリカで最大の猛禽類の一種です。ハクトウワシはアメリカの通貨にも描かれています。25セント硬貨のジョージ・ワシントン大統領の横をはじめ、大統領旗、大統領の公式紋章にも描かれています。ハクトウワシはアメリカで最も有名なシンボルですが、2024年12月に議会で正式に制定されるまでは、「アメリカの国鳥」と宣言されてはいませんでした。1782年に、アメリカの国のシンボルと宣言されましたが、国鳥ではありませんでした。このためアメリカには242年間、国鳥がいなかったことになりました。



ハクトウワシの歴史は、興味深いものがあります。頭には白い羽毛がありますが、体全体は茶色の羽毛です。そのため、ハクトウワシの頭には羽毛がないように見えます。これが「白頭(bald)ワシ」と呼ばれる理由です。アメリカがハクトウワシを選んだのは、力強く威厳があるように見えたからです。また、ワシはローマ共和国でも使われていたため、アメリカは強力な国家の象徴として使いたかったのでしょう。ハクトウワシは力強い鳥ですが、狩猟の対象にもなります。

ネイティブアメリカンは、ワシの羽を衣服や帽子に好んで使いました。その結果、狩猟によってハクトウワシは絶滅の危機に直面しましたが、ありがたいことに2007年に絶滅危惧種のリストから外されました。今はアメリカで非常に多く知られている鳥です。次回、アメリカを訪れる際は、ぜひ地元の湖や森を訪れてみてください。ハクトウワシが魚を捕まえている姿が見られるかもしれません。